

修業生に開かれている財政の可能性

<https://www.lapprenti.com/html/plans/finance.asp>

奨学制

現実には修業生のための奨学制はごくわずかです。それは CAP の修業生あるいは修業学習の準備クラスに在学しているものに限られています。

しかしながら州主導のものも存在します。(見てください [les pages régionales de l'apprenti.com](https://www.lapprenti.com/html/plans/finance.asp))

また、ヨーロッパ支援もあります(見て下さい [programme LEONARDO, ERASMUS ou EURODYSSEE](#))

その他の方策

フランスでの養成の財政支援方法のその他の方策

[Le RSA Jeune](#) : 18-24 歳のフランス国籍である程度期間の専門職活動がある人はいくつかの条件(居住地、資産)を満たしているならば若者の連帯保証基金(RSA)の恩恵を予定することができます。

[le CNOUS](#) あるいは [le CROUS](#) (学生生活サービス)

CNOUS は数多くの領域、給食事業、宿舎、奨学金、社会活動、文化、国際的開放などで学生生活を円滑にすることを使命としています。

国家が補償する貸与学生 [Prêt étudiant garanti par l'État](#) : 学生融資 Oséo は学習の財政支援のために学生(あるいは修業生)に特化した消費の信用貸与です。国家の保証による融資であり、他の担保(近親者の担保)を必要としません。据え置きの返還を目的としており、このことで学生は学習が修了したときに融資を返却し始めることが可能になります。

つぎのことを満たさなければなりません。

- 採用試験あるいはフランス高等教育の免状に準備するという観点からの機関に登録している
- 28 歳以下である,
- フランス人あるいはヨーロッパ経済圏(EEE)での他の国の住民(フランスに居住している幾つかの条件の下で).

融資は学生の収入、両親の収入ならびに履修しているコースによって決められます。